



「JSRグループ CSR Report 2014」

第三者検証 意見書

2014年7月17日

JSR 株式会社
取締役社長 小柴 満信 殿

一般社団法人 日本化学工業協会
レスポンシブル・ケア検証センター長

高瀬純治



■ 報告書検証の目的

レスポンシブル・ケア報告書検証は、JSR株式会社が作成した「JSRグループ CSR Report 2014 の冊子版及びWeb版」(以後、報告書と略す)に記載されている、下記の事項について、化学業界の専門家であるレスポンシブル・ケア検証センターが意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
- 3) レスポンシブル・ケア活動及びCSR活動について
- 4) 報告書の特徴

■ 検証の手順

- ・本社において、各サイト(事業所、工場)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、並びに彼らより資料提示・説明を受けることにより行いました。
- ・千葉工場において、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び数値以外の記載情報の正確性の調査を行いました。千葉工場での調査は、各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、資料提示・説明を受けること、並びに証拠物件と照合することにより行いました。
- ・数値及び記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

■ 意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
 - ・数値の算出・集計方法は、本社及び千葉工場において、合理的な方法を採用しています。
 - ・調査した範囲に於いて、数値は正確に算出・集計されています。
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
 - ・報告書に記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性、文章の分かり易さ或いは冊子版とWeb版の整合性に関し若干の指摘をしましたが、現報告書では指摘事項は修正されています。
- 3) レスポンシブル・ケア(以後、RCと略す)活動及びCSR活動について
 - ・社長自ら従業員と直接に対話し、RC活動及びCSR活動について、その考え方を説明・浸透させ、強力にリーダーシップを発揮し、活動を推進していることを評価します。
 - ・JSRは、2013年度にCO₂排出量を対1990年比10.7%削減、VOC排出量を対2000年比74%削減そして産業廃棄物は最終埋め立て処分量ゼロを達成するなど着実にRC活動の成果を上げていることを評価します。
 - ・千葉工場ではCO₂の排出量削減目標を全社目標より大幅に高い目標を掲げ、2013年度に対1990年比13.5%削減を達成したことを評価します。なお、この功績が認められ千葉工場は2013年度(一社)日本化学工業協会のレスポンシブル・ケア賞を受賞しました。
 - ・千葉工場は、残念ながら26年間続いていた休業災害ゼロが2013年度に途絶えました。この事態を重く受け止め2014年度の工場方針に安全第一及び全員参画を掲げ、各課の業務計画に落とし込み、基本に立ち返った安全活動計画を策定し、新たな無災害記録の達成に再挑戦されたことを評価するとともに、今後の成果を期待します。
- 4) 報告書の特徴
 - ・本レポートは、JSRグループのCSRの取り組みを網羅的に報告しているWeb版と各ステークホルダーに特に伝えたい項目等をまとめた冊子版とで構成されています。なお、レスポンシブル・ケア活動については、JSRの各工場が発行しているレスポンシブル・ケア各工場レポートでも分かり易く活動内容が報告されています。

以上